

特集

保健師活動と「コミュニケーション」

保健師活動におけるコミュニケーション 保健師とヘルスコミュニケーション —— 佐甲 隆
母子保健活動とコミュニケーション 家庭訪問時のコミュニケーション —— 舟木文華
生活習慣病対策とコミュニケーション 特定保健指導におけるコーチング術 —— 金子美千代
高齢者保健活動とコミュニケーション ターミナル期のコミュニケーション —— 宮林幸江
精神保健活動とコミュニケーション 危機的状況を回避するコミュニケーション —— 佐川きよみ
ネットワーク形成に求められる他職種とのコミュニケーション —— 堀井とよみ

編集後記

●今号の編集を進めている4月下旬、メキシコで豚インフルエンザが人に感染し、さらにそれが人から人へ感染したとの情報が伝えられた。WHOは4月28日、フェーズ4を宣言し、日本でも首相をトップとする「新型インフルエンザ対策本部」が設置された。ゴールデンウィークを前に、全国の保健所を中心に電話相談の対応が開始された。そして4月30日には米国で死亡者が伝えられ、WHOはフェーズ5を宣言し、世界的大流行の兆しを示唆した。

感染の仕方はこれまでのインフルエンザと同じと見られるため、うがいや手洗い、マスクの着用など、予防や感染防止対策は基本どおりと考えられる。万一にも加工された肉からの感染は考えられないので、今後は、信憑性のない情報やうわさに惑わされないよう、各機関が正確な情報を提供しつつ、冷静な対応を呼びかけていくことになる。

今回は、感染源が空を飛び鳥でなく、地を歩く豚だったこともあり、パニックは起きていない。しかし、多くの人々が航空機で世界中を飛び回る時代に、このような感染症の流行を食い止めることは、今後ますます難しくなり、正確な情報と冷静な対応がますます必要となる。(杉之尾)

●この編集後記を書いている4月29日、エジプトでは新型インフルエンザ対策の一環として国内飼育豚の全頭殺処分(約20万頭)が決まりました。2004年、アジアで鳥インフルエンザ(H5N1型)が流行した際には鳥を1億羽以上殺処分したそうです。今号が発行される頃には、状況は好転しているでしょうか。

人命は最も尊いとされているので、エジプトの豚はどこかの店頭にならび私たちがおいしくいただくこともなく、やむをえず処分されます。私たちが決めた、ヒトに食べられるという目的を全うできなかったことに対して豚自身はどう思っているのかはもちろんわかりません。

各地で新型インフルエンザに関する相談窓口が設置され、「スーパーの豚肉は食べてもいいのでしょうか」など、地域住民からの相談対応にお忙しい読者の方もいらっしゃるかと思います。すでに亡くなられた人間や、鳥や豚のためにも、適切な対策を講じ、被害を最小化していきたいものです。

私個人ができることは、しっかりやっています。会社から帰ったら手洗いとうがいの励行、豚カツを食べるときには「いただきます」を忘れずに。(長谷川)

保健師ジャーナル 第65巻6号 2009年6月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2009年年間購読料15,000円(税込,送料弊社負担)

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600

保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当/杉之尾・長谷川・伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の承諾を得てください。1348-8333/09/¥250/論文/JCLSが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCLS宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。